

令和 5 年度繰越事業  
古賀水再生センターNo.3 遠心脱水機更新工事

特記仕様書  
(No.3 脱水機 機械設備)

令和 6 年 4 月

福岡県古賀市

目 次

第 1 章 総則 .....	3
第 1 節 一般事項 .....	3
第 2 章 汚泥脱水設備.....	4
第 1 節 No. 3脱水機 .....	4
第 2 節 No. 3汚泥供給ポンプ.....	10
第 3 節 № 3 薬品供給ポンプ.....	13
第 4 節 № 3 無機凝集剤注入ポンプ.....	15
第 5 節 三相誘導電動機.....	17
第 3 章 複合工 .....	18
第 1 節 鋼製加工品類.....	18
第 2 節 基礎工 .....	19
第 3 節 配管 .....	20
第 4 章 撤去工 .....	21
第 1 節 機器類 .....	21
第 2 節 鋼製加工品類.....	21
第 3 節 基礎工 .....	22
第 4 節 配管 .....	23
第 5 章 仮設工 .....	24
第 1 節 鋼製加工品類.....	24

## 第 1 章 総則

### 第1節 一般事項

#### 1 概 要

本設備は古賀水再生センターNo.3 遠心脱水機更新工事にかかる機械設備を設置するもので、その内容は下記の通りである。

##### 1 汚泥脱水設備 1 式

本設備の施工範囲は、上記の設計、製作、据付、及び塗装工事、調整、予備試験並びにそれによって生じる手直しまでの一切を行うものとし、これに必要なコンクリート基礎工事貫通部のはつり復旧、仮設工事等の付帯工事も含む。

なお、本工事の機器の製作並びに据付等においては現地をよく調査のうえ、施工のこと。

本設備の技術的な方針は添付図面及び本特記仕様書に記するものであるが、請負人は最新にして良心的かつ高度の技術をもって設計製作すること。

なお、各装置の機器使用が合致しない場合及び疑義を生じた場合は本市係員の指示によるものとする。

#### 2 試験及び検査

請負業者は本工事に関する試験及び検査を実施し、結果を報告して承認を受けるものとする。

#### 3 施工責任

本工事は、請負業者における責任施工とし、特に本仕様書に明記していない部分について運転管理上、設備上必要なもの、及び再生使用部品の復旧については一切請負業者の負担とし、責任をもって施工すること。

#### 4 標準仕様書、一般仕様書の遵守

本仕様書に明記していない事項については「機械設備工事標準仕様書」「機械設備工事一般仕様書」（日本下水道事業団）に規定しているので、これを遵守しなければならない。

また、既設機器撤去及びコンクリートなどの解体に当たっては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に準じること。

## 第 2 章 汚泥脱水設備

### 第 1 節 No.3 脱水機

#### 1 使用目的

本機は、汚泥サービスタンクまたは汚泥貯留槽からの汚泥を連続脱水するためのものである。

#### 2 仕様

項 目	仕 様	備 考
(1) 形 式	低動力型高効率遠心脱水機	
(2) 汚 泥 性 状	汚泥種類：消化汚泥 TS 2.5 %, VTS 77 %, 粗蛋白質 %, 繊維状物(100Mesh) 8.0 % アニオン度 m・Eq/g・TS	標準汚泥 ○標準外汚泥
(3) 処 理 量	7 m <sup>3</sup> /h	
(4) 薬 注 率	○b)2 液調質 高分子凝集剤 2.0%以下 (両性, アニオン, カチオン, 他( )) 無機凝集剤(塩化第二鉄、○ポリ硫酸 第二鉄, ポリ塩化アルミニウム) 3.3 %以下 (対 DS 金属重量換算)	
(5) 脱水汚泥含水率	81 WB%以下	
(6) 電 動 機 出 力	総合 24 kW 以下	
(7) 電 源	200 V × 60 Hz × 3 φ	
(8) 数 量	1 台	
(9) 選 択 項 目	1) 防音パッケージ ○a) 有 b) 無	
	2) 薬注比例制御 ○a) 有(○機械工事・電気工事) b) 無	
	3) 低圧閉鎖配電盤(インバータ盤) 設置場所 a) 脱水機室 ○b) 電気 室 (2F) 高周波抑制対策 ○a) 有 b)無	

### 3 構造概要

本機は下水汚泥を連続遠心脱水処理するために使用するもので、遠心分離機本体の機械設備と、運転に必要な付属機器から構成される。

なお、本機は脱水効率向上を図るため、構造的特徴として、標準処理量に応じ、機内滞留時間、ボウル内液深、排泥に必要なスクリーコンベヤトルクが次表に示す値を有するものとする。

表－１ 構造基準

標準処理量 X[m³/時]	5・7・10	15・20	30	50
機内滞留時間[秒]	2.4X+8.4 以上	34.8 以上	46.8 以上	
ボウル内液深[mm]	45.6 以上	87.6 以上	0.48X+104.4 以上	
スクリーコンベヤトルク[N・m]	238X-412 以上		246X+2015 以上	88.9X+6716 以上

### 4 製作条件

- (1) 遠心分離機は高速運転においてもバランスよく回転し、遠心力を考慮し十分なる強度を有すると同時に耐摩耗性、耐食性についても十分考慮の上製作する。
- (2) 本脱水機は、防音パッケージを設けるものとする。ただし、必要がない場合については、特記仕様書で指示する。
- (3) 本脱水機の性能は次の条件で適用する。
  - a) 汚泥は主に家庭汚水を活性汚泥法により処理する過程で発生する汚泥で、流入水量は、受入施設能力に対し約 30%以上の場合を適用範囲とする。
  - b) 汚泥は通常の処理工程（標準的な処理フロー、標準的な滞留時間）を経たもので、汚泥の性状、組成等は一般的なものとする。
    - i) 重力濃縮汚泥は、汚水を標準活性汚泥法で処理する過程で発生する最初沈殿池汚泥と最終沈殿池余剰汚泥を重力濃縮タンクにて混合濃縮した汚泥とする。

なお、汚泥は所定の滞留時間内（24 時間以内）の汚泥で腐敗等が生じていないものとする。
    - ii) 消化汚泥は、嫌気性消化法により消化された汚泥とする。なお、無加温消化の場合は所定の消化日数の 2 倍以内の日数で消化された汚泥を適用範囲とする。
    - iii) 機械濃縮汚泥は、汚水を標準活性汚泥法で処理する過程で発生する最初沈殿池汚泥に重力濃縮、余剰汚泥に機械濃縮法を適用し、分離濃縮した汚泥を固形物比で所定の割合（生：余剰＝1：1.2～1.3）に混合したものとする。

### 5 各部の構造

#### (1) 遠心分離機

本機は回転体、差速装置、軸受、ベース、ケーシング、給液パイプ、駆動電動機、制御盤等から構成するものとする。

##### a) 回転体

回転体はボウル、スクリーコンベヤで構成された構造とする。またスクリーコンベヤの羽根先端には、セラミックス、タングステンカーバイド、表面硬化メタル等

の耐摩耗対策を施すものとする。

b) 差速装置

差速制御方式は、インバータを標準とし、差速制御に必要な付属品類を含む。

なお、電動機仕様は、かご形三相誘導電動機、屋外全閉防まつ形・外被表面冷却自力形、連続定格、絶縁は、電動機出力に応じ B、E、F 種のいずれかとする。

c) ケーシング

ケーシングは、内部の点検修理が容易にでき、かつ汚泥ミストや臭気が外部に洩れない密閉性のよい構造とする。ケーキ排出シュートは、ステンレス鋼（SUS304、3 t 以上）とし、ケーキ排出機との接続部にはフレキシブルジョイントを設ける。

d) ベースと防振対策

ベースは鋼製または鋳鉄製とし、機械振動に耐えうる構造とする。また、ベースと設置架台の間に防振装置等を取付け、防振対策を十分行うものとする。

なお、コンベヤ等搬出装置は、脱水機室地下に設けることを標準とする。

e) 軸受

軸受は、連続高速運転に十分耐えうる寿命を有するものとする。

f) 安全装置

回転体内部に異物が入り、ブレーキが生じるような異常負荷時や、回転体異常振動時には、脱水機の運転が停止できるような安全装置を設けるものとする。

g) 給液パイプ

外部より回転体の内部へ耐食性パイプにて給液できる構造とする。

h) 潤滑方式

潤滑方式は、次のとおりとする。

主軸（ベアリングボックス）：油強制潤滑またはグリース封入、油浴方式

内胴スクリュウ支持部軸受：グリース封入方式

なお、潤滑油ユニット（必要時）の電動機の仕様は、かご形三相誘導電動機、屋外全閉防まつ形・外被表面冷却自力形、連続定格、絶縁は電動機出力に応じ B、E、F 種のいずれかとする。

i) 駆動用電動機

本体を規定回転数まで回転させ、負荷に対して十分耐えうる容量のものとする。電動機の仕様はかご形三相誘導電動機、屋外全閉防まつ形・空冷外被表面冷却自力形、連続定格、絶縁は、電動機出力に応じ B または F 種とし、インバータ駆動を標準とする。なお、インバータ制御ユニットは本機に含むものとする。

(2) 付属設備

a) 動力制御盤

脱水機の現場手動、自動および必要なときは遠隔運転を行うための制御回路（差速制御回路を含む）、計器、スイッチ、ランプ表示、接続端子類を内蔵させるものとする。盤の形式は、屋内自立型とし、室内腐食環境対策を考慮したものとする。

b) 工業計器盤（計装盤）

工業計器盤は動力制御盤と一体とする。

汚泥と薬品の供給量は、容易に手動調整できるものとする。また、薬品の固形物比



## 9 他工種との区分

### (1) 土木・建築工事との区分

機械基礎および機械基礎アンカーは、本工事とする。

### (2) 電気設備工事との区分

動力制御盤との取り扱い

右図の動力制御盤、工業計器盤（計装盤）を本工事にて行うものとする。なお、低圧鎖配電盤（インバータ盤）については、特記仕様書の指示によるものとする。

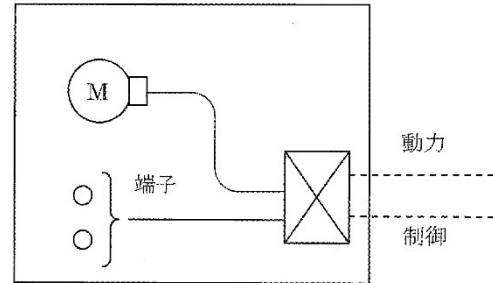


図 2-1 動力制御盤等

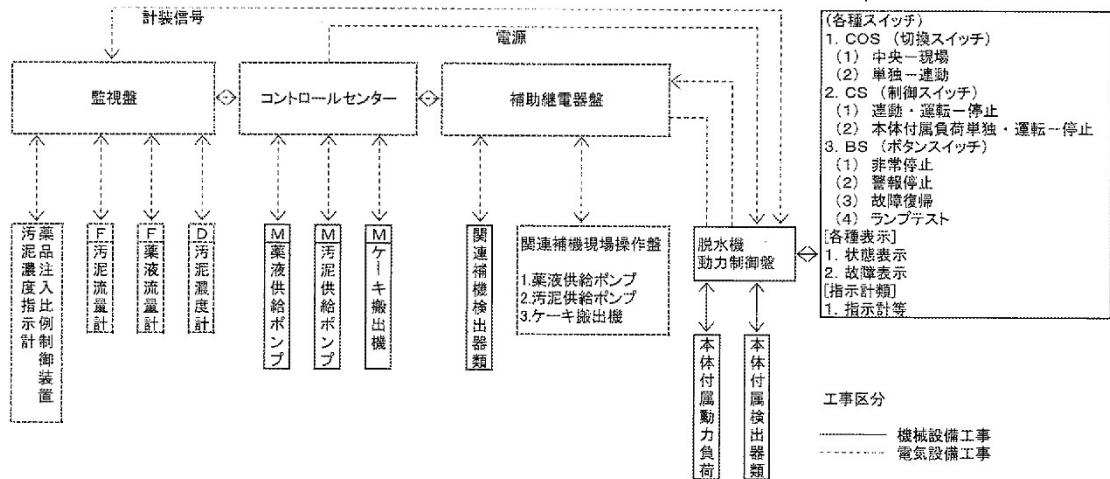


図 2-2 脱水機機械・電気工事区分図詳細

## 10 標準付属品（1台に付）

- |                            |           |
|----------------------------|-----------|
| (1) 防振装置及び設置架台             | 1 式       |
| (2) 脱水汚泥シュート（機械基礎上面までとする。） | 1 式       |
| (3) 分離液シュート（機械基礎上面までとする。）  | 1 式       |
| (4) 動力制御盤、工業計器盤（計装盤）       | 1 式       |
| (5) 低圧閉鎖配電盤（インバータ盤）        | 1 式       |
| (6) 防音パッケージ（吸音材、照明、換気装置付）  | 1 式       |
| (7) 取付けボルト、ナット             | 1 式       |
| (8) 特殊分解工具                 | 1 式（全台に付） |



## 1 1 特記事項

- ・低動力型高効率遠心脱水機技術マニュアル（2007 年 8 月）下水道新技術推進機構発行 に準じた設備内容とし、型式はA型とする。
- ・動力制御盤等は 2 F 監視室に設置し、据付および制御盤から脱水機までの 2 次側配線は本工事範囲とする。
- ・脱水機室内で、脱水機の始動、停止、非常停止等最低限の操作ができるようにすること。
- ・制御盤からアースは、電源・計装・制御とする。

### － 備 考 －

構造概要に示す構造的特徴の定義は次のとおりとする。

#### 1) 機内滞留時間 [秒]

$$\text{機内滞留時間} = \frac{\text{ボウル容積} [\text{m}^3]}{\text{投入汚泥量} [\text{m}^3/\text{h}]} \times 3600$$

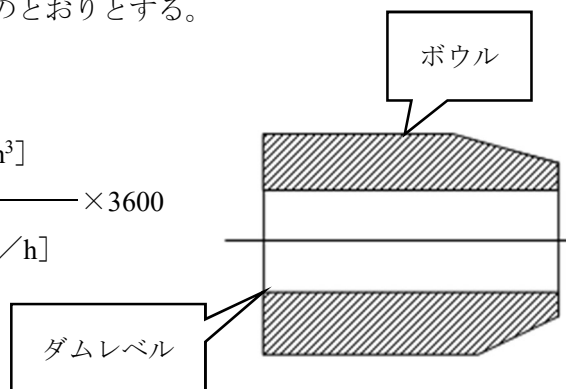


図 2-3 ボウル容積の考え方

ボウル容積は、水面位置がダムレベル（液排出）の場合のボウル内容積とする。

（図 2-3 参照）

#### 2) ボウル内液深 [mm]

液深は、分離水排出孔の中心とボウル内壁までの距離とする。ただし、排出口形状が堰の場合は、堰の位置とボウル内壁までの距離とする。

#### 3) コンベヤトルク [N-m]

コンベヤトルクは、脱水汚泥を機外へ排出する際のコンベヤに掛かる設計回転トルクとする。

## 第2節 No.3 汚泥供給ポンプ

### 1 使用目的

汚泥貯留槽からの汚泥を脱水機へ移送するためのものである。

### 2 仕様

項 目	仕 様	備 考
1 形 式	一軸ねじ式ポンプ（可変容量）	
2 口 径	吸込側 $\phi$ 80 mm	
3 吐 出 量	3.5～10.5m <sup>3</sup> /h r	
4 全 揚 程	10m	98.1Kpa
5 取 扱 流 体	嫌気性消化汚泥 濃度 2.5%	加温消化汚泥（60℃以下）
6 電 動 機	3.7kW	VVVF
7 電 源	200V×60Hz×3 $\phi$	
8 軸 封 方 式	メカニカルシール（無注水型）	
9 数 量	1 台	

### 3 構造概要

本ポンプは、汚泥を凝集混和タンク又は脱水機へ定量的に供給するものである。

### 4 製作条件

本ポンプは、回転容積型一軸偏心ねじ式ポンプとし、含水率 95～98%の汚泥に対して、安定した性能を有し、汚泥の閉塞がなく、かつ電動機に過負荷が生じないよう製作すること。

### 5 各部の構造

- (1) ポンプケーシングは、鋳肌滑らか、かつ堅ろうなもので、衝撃、摩耗、腐食および配管荷重に対して、十分余裕のある肉厚を有するものとする。
- (2) ロータは、一軸の偏心ねじ式とし、運転中に振動を起こさないものとする。
- (3) ステータは二条の偏心ねじ式とし、交換容易なカートリッジ型とする。
- (4) ステータの取替を簡便に行えるよう、吸込ケーシングと吐出ケーシングの取外しが行える構造とし、配管及び取替えスペースを決定すること。
- (5) カップリングロッドは、駆動部よりロータへ回転運動を円滑に伝達できるよう、完全密封のユニバーサルジョイント2個を介したカップリングロッド又は絡み付き防止を施したたわみ軸継手を設けること。
- (6) 軸封装置は、メカニカルシール方式とし、注水式、無注水式は特記仕様書で選択する。
- (7) 軸受は、荷重に対して、十分な支持容量を有する構造とし、潤滑が完全に行われ過熱等のおそれのない耐久性のあるものとする。また、軸推力に対しても十分な余裕を有するものとする。

のとする。

- (8) 電動機の仕様は、屋外全閉防まつ形・空冷外被表面冷却自力形、連続定格のインバータ駆動対応電動機とし、原則ベルト掛け型とする。詳細は第 5 節三相誘導電動機による。

## 6 使用材料

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) ケーシング    | FC200 以上   |
| (2) ロータ      | SKD11 以上+硬質クロムめっき<br>又は SUS304 以上+硬質クロムめっき       |
| (3) ステータ     | 合成ゴム   |
| (4) シャフト     | SUS420 または SUS304<br>たわみ軸継手の場合：チタン合金+フッ素樹脂コーティング |
| (5) 絡み付き防止装置 | SUS304 以上（たわみ軸継手の場合）                             |
| (6) 共通ベース    | FC200 又は SS400                                   |

## 7 保護装置

封水継電器（注水式の場合）

## 8 運転・操作概要

### (1) 操 作

中央	—	自動
現場	└	単独

### (2) 自動運転

└	起動指令	汚泥混和槽レベル
└		脱水機系運転指令
└	起動条件	保護継電器不動作
└	連動機器	薬液注入装置

## 9 試験・検査

JIS に基づき、清水にて揚水量、揚程、軸動力、電動機出力並びに、効率等の試験及び検査を行う。なお、試験および検査は JIS B 8312 を適用する。

## 10 塗 装

機械設備工事一般仕様書による。

## 11 据 付

機械設備工事一般仕様書による。

## 12 他工事との区分

### (1) 土木、建築工事との区分

原則として機械コンクリート基礎、一部はつり工及び孔部分の復旧工事は本工事に含む。

(2) 電気設備工事との区分

機器の据付けまで本工事とし、電気設備との取合いは機器の端子渡しとし、それ以降の配線接続は電気工事とする。

1 3 標準附属品（1 台につき）

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| (1) 共通ベース                      | 1 式 |
| (2) 基礎ボルト・ナット                  | 1 式 |
| (3) ポンプ・駆動部間軸継手及び安全カバー（必要な場合）  | 1 個 |
| (4) 隔膜式圧力計                     | 1 式 |
| (5) ルーズフランジ又は可とう管（吸込側用）（必要な場合） | 1 式 |

### 第3節 No.3 薬品供給ポンプ

#### 1 使用目的

本ポンプは、両性または、カチオン系高分子凝集剤溶液を脱水機に供給するためのものである。

#### 2 仕様

項 目	仕 様	備 考
1 形 式	一軸ねじ式ポンプ（可変容量）	
2 口 径	吸込側 $\phi$ 50 mm	
3 吐 出 量	最小 0.7 ～最大 2.1 m <sup>3</sup> /hr	
4 全 揚 程	10m	98.1Kpa
5 取 扱 流 体	流体名 高分子凝集剤溶解液 濃度 0.3%	
6 電 動 機	1.5 kW	VVVF
7 電 源	200 V × 60Hz × 3 $\phi$	
8 数 量	1 台	

#### 3 構造概要

本ポンプは、薬品溶解タンクより、脱水機へ薬液供給量を調整して供給するものである。

#### 4 製作条件

本ポンプは、薬品濃度0.1～0.3%に対し安定した性能を有し、薬液を支障なく送液でき、電動機に過負荷が生じないよう製作すること。

#### 5 使用材料

(1) 本ポンプの使用材料は、高分子凝集剤の種類により、次のとおりとする。

	右記以外の 高分子凝集剤	両性高分子凝集剤 (12章5節6両性高分子凝集剤注入ポンプ)
ケーシング	FC200 以上	SUS316 又は SCS14
ロータ	SUS304	SUS316
ステータ	合成ゴム	フッ素ゴム (FKM)
シャフト	SUS420 又は SUS304	SUS316
共通ベース	FC200 又は SS400	

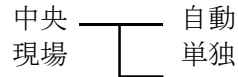
(2) 軸封装置は、無注水式メカニカルシールとする。

#### 6 保護装置

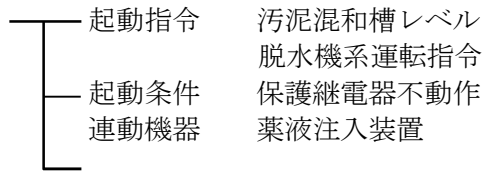
封水継電器（注水式の場合）

## 7 運転・操作概要

### (1) 操 作



### (2) 自動運転



## 8 試験・検査

JIS に基づき、清水にて揚水量、揚程、軸動力、電動機出力並びに、効率等の試験及び検査を行う。なお、試験および検査は JIS B 8312 を適用する。

## 9 塗 装

機械設備工事一般仕様書による。

## 10 据 付

機械設備工事一般仕様書による。

### 11 他工事との区分

#### (1) 土木、建築工事との区分

原則として機械コンクリート基礎、一部はつり工及び孔部分の復旧工事は本工事に含む。

#### (2) 電気設備工事との区分

機器の据付けまで本工事とし、電気設備との取合いは機器の端子渡しとし、それ以降の配線接続は電気工事とする。

### 12 標準附属品（1 台につき）

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| (1) 共通ベース                      | 1 式 |
| (2) 基礎ボルト・ナット                  | 1 式 |
| (3) ポンプ・駆動部間軸継手及び安全カバー（必要な場合）  | 1 個 |
| (4) 隔膜式圧力計                     | 1 式 |
| (5) ルーズフランジ又は可とう管（吸込側用）（必要な場合） | 1 式 |

#### 第4節 No.3 無機凝集剤注入ポンプ

##### 1 使用目的

本ポンプは、無機凝集剤を脱水機に供給するためのものである。

##### 2 仕様

項 目	仕 様	備 考
1 形 式	ダイヤフラム式ポンプ（可変容量）	
2 口 径	吸込側 $\phi$ 20 mm	
3 吐 出 量	最小 0.3～最大 1.1 L/min	
4 全 揚 程	5m	49.1Kpa
5 取 扱 流 体	ポリ硫酸第二鉄	$\gamma = 1.45$ 以上 Fe=11.0%以上
6 電 動 機	0.4kW	
7 電 源	200V×60Hz×3 $\phi$	
8 数 量	1 台	

##### 3 構造概要

本ポンプは、塩鉄希釈液を凝集混和タンクに自動比例注入するもので、型式はダイヤフラム形自動ストローク制御容量ポンプとする。

##### 4 製作条件

材質は塩化第2鉄に対して耐食性のものとする。

注入量は予想最低と予想最大を計算し、その範囲のものを注入可能なように製作すること。

##### 5 各部の構造

- (1) ポンプは本体と駆動部の2つで構成する。
- (2) ポンプ本体は、ダイヤフラムによる容積型とする。吐出部はボール逆止弁収納とし、点検分解の容易なる構造とすること。
- (3) 駆動電動機は、汎用定速回転とし、ストローク調節はサーボユニットによる自動調節とする。電動機は、第5節三相誘導電動機による。
- (4) ポンプ吐出ラインには、脈動防止のためアキュムレータを設け、また、管閉塞による異常高圧防止のために安全弁を付属するものとする。

##### 6 使用材料

- |              |                                   |
|--------------|-----------------------------------|
| (1) ポンプ本体ケース | SS400、FC200 又は PVC、接液部 PVC 又は耐食材質 |
| (2) ダイヤフラム   | テフロン                              |
| (3) ボールバルブ   | セラミック                             |
| (4) コモンベース   | FC200 または SS400                   |

##### 7 保護装置

機械的保護装置  
安全弁

## 8 運転・操作概要

### (1) 操作

- 中央 — 自動
- 現場 — 単独

### (2) 自動運転

- 起動指令 汚泥供給ポンプ運転
- 起動条件 保護継電器不動作
- 連動機器 脱水系機器

## 9 試験・検査

工場—清水にて性能試験を行う。

## 10 塗 装

機械設備工事一般仕様書による。

## 11 据 付

機械設備工事一般仕様書による。

## 12 他工事との区分

機械設備工事一般仕様書による。

## 13 標準付属品（1台につき）

- |                        |   |   |
|------------------------|---|---|
| (1) サーボユニット            | 1 | 式 |
| (2) 基礎ボルト・ナット          | 1 | 式 |
| (3) アキュームレータ           | 1 | 台 |
| (4) 安全弁                | 1 | 台 |
| (5) 隔膜式圧力計（元弁共）        | 1 | 台 |
| (6) 可とう管（吐出、吸込共）       | 1 | 台 |
| (7) 電気ポジショナ（電気設備工事に支給） | 1 | 式 |
| (8) 増幅器（電気設備工事に支給）     | 1 | 式 |
| (9) コモンベース             | 1 | 式 |



## 第5節 三相誘導電動機

### 構造及び仕様

#### 1 規格

JEC-2137、JEM-1400、1188、1380、1381、1224、JIS C 4210、4212

#### 2 軸受

すべり軸受又はころがり軸受とし、回転子重量や予想される振動に対し、十分耐え得る強度を有すること。

オイル潤滑の場合は、油槽に油面計を設け外部から目視確認を行え、容易に注油できる構造とする。

また、グリース潤滑の場合は容易にグリース注入のできる構造とする。

なお、小径のベアリングについては、グリースを封入した密閉ベアリングを使用することが出来るものとする。

#### 3 端子箱

口出線の保護をするとともに電源ケーブルとの接続が容易にできる大きさを有するものとし、箱内には接地端子を設けること。

#### 4 インバータ駆動の電動機

電動機は、インバータ装置の特性に合ったもので回転数制御範囲内の使用における温度上昇に対し、十分耐えること。

回転数制御範囲は原則として電動機の定格周波数を越えないこと。

ただし、特記仕様書で指定する周波数がある場合は、その周波数を回転数制御範囲とする。

#### 5 高効率電動機

(1) 下記の仕様において、原則として高効率低圧三相かご形誘導電動機(JISC4212)を採用すること。

(2) ①特殊小型電動機 ②水中用電動機 ③可変速電動機 ④遊星減速機直結電動機(6P)は除くものとし、インバータ駆動する電動機(高効率兼用型以外)は対象外とする。

#### 6 定格

定格出力 図面又は特記仕様書による。

定格電圧 //

極 数 //

回 転 数 //

形 式 //

負荷との連結方式 //

始動方式 //

#### 1-7 銘板

電動機には、JEC-2137による定格銘板の他保守等に必要の補助銘板を取付けること。

### 第 3 章 複合工

#### 第 1 節 鋼製加工品類

##### 1 鋼製加工品仕様および施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	材質	数量	備考
1	配管サポート	B1F,1F	図面による	SS400	1 式	
2	その他必要品			SS400 他	1 式	

##### 2 一般仕様書の摘要

##### 3 特記事項

- (1) 詳細は、機器配置図、添付図面による。
- (2) 上表は主品目についてリストアップしたものであり、記載のない品目であっても機能上必要と判断されるものは本工事範囲とする。

## 第2節 基礎工

### 1 基礎工仕様および施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	数量	備考 (防食塗装、防水等)
1	No.3 汚泥供給ポンプ基礎	B1F		1	
2	No.3 薬品供給ポンプ基礎	1F		1	
3	No.3 脱水機基礎	1F		1	
4	配管貫通部			1 式	

### 2 一般仕様書の摘要

### 3 特記事項

- (1) 詳細は、機器配置図、添付図による。
- (2) 本表の他、必要品は本工事範囲とする。
- (3) 撤去工事に伴うガラ処分は本工事に含む。
- (4) 2 F 電気室に脱水機動力制御盤を設置するのに必要な、フリーアクセス等の改造は本工事に含む。

### 第3節 配管

#### 1 配管仕様および施工範囲

番号	配管名	材質	施工範囲 (A、φ)	施工範囲 ( ～ )	備考 (配管被 覆等)
1	汚泥供給管	DCIP, SUS	φ 75 50～80A		
2	分離液管	VP	200A		
3	薬品供給管	SGP-FVA	40～50A		
4	助剤供給管	SGP-FVA	15A～20A		
5	ドレン管	SUS	65A		
6	脱臭ダクト	VU	125 A		

#### 2 一般仕様書の摘要

#### 3 特記事項

- (1) 配管計画に当たっては、既設設備を充分調査の上行うこと。

## 第 4 章 撤去工

### 第 1 節 機器類

#### 1 機器仕様

番号	名称	仕 様	数量	備 考
1	N o 3 脱水機	遠心脱水機 7m3/hr	1	
2	N o 3 薬品供給ポンプ	一軸ネジ式	1	
3	N o 3 汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式	1	
4	N o 3 無機凝集剤注入ポンプ	ダイヤフラム式	1	

#### 2 特記事項

- ・撤去品のうち、産業廃棄物の対象になるものについては適切に処分を行うこと。
- ・機器撤去には架台類撤去も含むものとする。

### 第 2 節 鋼製加工品類

#### 1 鋼製加工品仕様および施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	材質	数量	備考
1	配管サポート	B1F,1F	図面による	SS400	1 式	
2	その他必要品			SS400 他	1 式	

#### 2 一般仕様書の摘要

#### 3 特記事項

- (1) 詳細は、機器配置図、添付図面による。
- (2) 上表は主品目についてリストアップしたものであり、記載のない品目であっても機能上必要と判断されるものは本工事範囲とする。

### 第3節 基礎工

#### 1 基礎工仕様および施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	数量	備考 (防食塗装、防水等)
1	No.3 汚泥供給ポンプ基礎	B1F		1	
2	No.3 薬品供給ポンプ基礎	1F		1	
3	No.3 脱水機基礎	1F		1	
4	配管貫通部			1 式	

#### 2 一般仕様書の摘要

#### 3 特記事項

- (1) 詳細は、機器配置図、添付図による。
- (2) 撤去工事に伴うガラ処分は本工事に含む。

#### 第4節 配管

##### 1 配管仕様および施工範囲

番号	配管名	材質	施工範囲 (A、φ)	施工範囲 ( ～ )	備考 (配管被覆等)
1	汚泥供給管	DCIP,	φ 75		
2	分離液管	VP	200A		
3	薬品供給管	SGP-FVA	40～50A		
4	助剤供給管	SGP-FVA	15A～20A		
5	ドレン管	SUS	65A		
6	脱臭ダクト	VU	125 A		

##### 2 一般仕様書の摘要

##### 3 特記事項

- (1) 配管計画に当たっては、既設設備を充分調査の上行うこと。

## 第 5 章 仮設工

### 第 1 節 鋼製加工品類

#### 1 鋼製加工品仕様および施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	材質	数量	備考
1	仮設階段	1F	図面による	SS400	1 式	
2	仮設スロープ	1F	“	SS400 他	1 式	

#### 2 一般仕様書の摘要

#### 3 特記事項

- (1) 詳細は、機器配置図、添付図面による。
- (2) 上表は主品目についてリストアップしたものであり、記載のない品目であっても機能上必要と判断されるものは本工事範囲とする。